年間授業計画 新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報　　科 目： 情報Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（A組：結城）　（ 組： ）　（ 組： ）　（ 組： ）　（ 組： ）　（ 組： ）

使用教科書：（ —新編— 情報Ⅰ ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等を理解する。
情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。

【学びに向かう力、人間性等】 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けていること。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	情報で問題を解決する 【知識及び技能】 情報社会の発展の要因となる技術の進歩とそれに伴う生活の変化を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい情報社会に向かうために必要なこと、物を考え、主体的に情報社会に参画する態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の流れを把握し、自ら問題を発見する力を育む。	・指導事項「教科書第1章 情報で問題を解決する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人１台端末の活用方法「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 情報とメディアの特性を理解する。 Society5.0とその出現の背景を理解する。 情報モラルを身に付ける。 知的財産権等の権利を理解する。 【思考・判断・表現】 問題解決の方法を知り、実践できる。 情報社会に望ましいルールとマナーを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会に興味を持ち、自ら知識を取り入れようとしている。	○	○	○	12
	コンピュータに触れる・慣れる 【知識及び技能】 コンピュータとは何か、どのような仕組みかを理解し、操作できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 よりよい情報社会に向かうために必要なこと、物を考え、主体的に情報社会に参画する態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の流れを把握し、自ら問題を発見する力を育む。	・指導事項「教科書第1章 情報で問題を解決する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人１台端末の活用方法「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 コンピュータの部位や機能について理解している。 コンピュータの操作を行うことができる。 【思考・判断・表現】 コンピュータを用いて自身の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら問題点を発見できる。 問題解決のための行動を自発的に起こせる。 作成・実施後の振り返りを実施できる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2学期	コンピュータを活用する 【知識及び技能】 プログラムの動作の仕組みとアルゴリズムによる表現ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムの基本構造を把握し、実際にプログラムを作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 デバッグなどを通して自ら問題を見つけ、解決する。	・指導事項「教科書第3章 コンピュータを活用する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人１台端末の活用方法「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 プログラムが命令とデータでできているものであることを認識する。 論理回路による簡単な演算ができる。 フローチャートを実際に書くことができる。 【思考・判断・表現】 変数、順次処理、条件分岐、繰り返しの概念を理解し、プログラムとして表現できる。 簡単なモデル化を実行できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラムに興味を持ち、自ら知識を取り入れようとしている。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3学期	データを活用する 【知識及び技能】 ネットワークの基礎的な仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データベースの仕組みを理解し、データの分析・活用に応用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の主張に合わせて必要なデータを探し、選ぶことができる。	・指導事項「教科書第4章 データを活用する」 ・教材「教科書、端末、Office365」 ・一人１台端末の活用方法「課題提出、及び授業資料の参照」	【知識・技能】 プロトコルの概念と、TCP/IPを理解できる。 データ種別とデータモデルについて理解する。 【思考・判断・表現】 データ分析をグラフ化等により実施できる。 データの解釈を行い、より正確なデータ分析が実施できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 分析したい事柄によってどのようなデータを使用するか考え、適切に選ぶことができる。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
							合計 78